

島根半島・宍道湖中海（国引き） ジオパーク推進協議会 令和5年度定例総会

日時: 令和6年3月27日(水)14:00～15:30
会場: 松江市 島根県市町村振興センター大会議室

8/19ジオパークの日イベント
日御碕クルージング

次 第

[報告事項]

第1号報告

令和5年度事業報告

第2号報告

島根半島・宍道湖中海ジオパーク
アクションプラン重点取組とKPI
(重要業績評価指標)の
令和5年度進捗状況

第3号報告

令和5年度一般会計決算見込

[議案]

第1号議案 役員改選(案)

第2号議案

令和6年度事業計画(案)

第3号議案

令和6年度一般会計予算(案)

第4号議案

島根半島・宍道湖中海ジオパーク
保全管理計画(案)

第5号議案

島根半島・宍道湖中海ジオパーク
ブランディング戦略(案)

第1号報告

令和5年度事業報告



新規加入会員

■ 中海漁業協同組合

加入年月日：4/25



■ 穴道湖漁業協同組合

加入年月日：5/18



日本ジオパークネットワーク（JGN）通常総会等への参加



JGN理事長ほか市町村長と
国会議員の皆様

5/30

■ JGN（日本ジオパークネットワーク）通常総会
ジオパークによる地域活性化推進議員連盟総会



島根大学生による
ポスター発表

10/27-29

■ 第13回日本ジオパーク全国大会in関東
(7名参加)

3 ジオパーク（隠岐、山陰海岸、島根半島・宍道湖中海）連携事業



11/21-22

■ 合同研修会（当ジオパークが担当、**31**名参加）

歴史・文化及び生物・生態サイトのPR

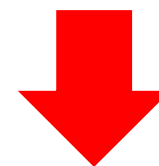
歴史・文化サイトカード

歴史・文化サイトカード			
編 号	T-A-19		更新日
サイト名	日本一の石造灯台へ出雲日御碕灯台		
区分	☒ 有形 ☐ 無形		
所在地	出雲市大社町日御碕字御台(石山)478番地		
指定制	「出雲日御碕灯台」国指定（指定番号02735）		
種別	有形文化財・重要文化財・建造物		
指定／登録年月日	令和4年2月9日		
管理団体／マニフェスト	公益社団法人豊後文化協会出雲日御碕支所 国土交通省海上保安庁熊本市管区海上保安本部		
周辺施設／アクセス	駅・トイレ 駅南側 灯台本館 灯台直轄(240分間隔) ノ山崎道(出雲)に3分車で約30分／出雲市駅からバスで約60分／日御碕灯台下車すぐ		
概要文	令和4年2月に重要文化財に指定された		
歴史・文化	1903年(明治36年)に設置された灯台。周囲360度の円柱式で高さ23.30m、地面から塔頂まで(塔高)が43.6mあり、石造灯台としては日本一の高さを誇る。日本人の設計になる近代灯台であり、外壁には松江府豊後郡時で知り出された建築の石材が用いられている。内窓(エンギ)が通っており、外壁と内壁の間に空間を作った特殊な二重構造になっている。先づきは6分間隔で、夜間は約45分間隔で点灯し、供出開始6分間隔を越え今日でも灯台として運用されている。 灯台のある日御碕周辺は「大山隠岐国立公園」に指定されており、燈台によって昭和12年豊後村秋の祭典「新嘉船遊覧」が運る景勝地となっている。周辺海岸で見ることで「秋の祭典」は、およそ1600万年前に産出した地層の地史研究によってできっており、「豊後半島・西瀬部中瀬ジオパーク」の代表的なスポットにも指定されている。天気がよければ豊後半島の全景が一掃でき、南方に中国山地の連なりが、はるか北方には琉球群島を望むことが出来る。 歴史や文化財の宝庫の豊後から、1989年(平成10年)「世界の歴史的灯台百選」、2013年(平成25年)「国の登録有形文化財」、2022年(令和4年)「国指定重要文化財」に選ばれている。また、2017年(平成29年)に一般社団法人日本ロマンチック協会により認定する灯台にも認定されている。 灯台の柱状窓による設計として近代建築史上、重要な遺産である。周辺の地質が特殊であり、地質学的にも重要な自然遺産にある。		
地形・地質、生態系	日御碕灯台は、大規模な断崖状の大山(石山)によって形成された探照ゲームが享受されてできた南麓約25mの段丘面に建っている。段丘面の形成年代は大社海岸に建っている庵倉御用所との対比からおよそ1050年前ごろと考えられている。切り立った断崖には柱状節理が垂直に発達し、それらが灯台と見事に調和しているため美しい景観を呈している。とくに、日御碕灯台は豊後半島北瀬部に位置するため海上交通にとって重要な役割を担っている。		
写真・図等			
参考文献			

生物・生態サイトカード

生物・生態サイトカード				
通しNo.	B-6	更新日	2024/1/5	
サイト名 冬の使者コハクチョウ				
基本情報	区分	☒ 動物 ☐ 植物		
	生息地	島根県松江市・出雲市・安来市・鳥取県米子市・境港市(宍道湖・中海・出雲平野・能義平野)		
	分類			
	管理状況／ 保護団体／ モニタリング			
	留意点	コハクチョウ:しまねレッドデータブック(準絶滅危惧)		
サイトの解説	生物・生態	GoogleMap2023 ハクチョウ類は、大昔から宍道湖一帯に渡来していたことが知られており、神話や出雲国風土記にもその存在が記されている。 宍道湖に渡来するハクチョウ類は、餌として水草類の消滅などにより一時期ほとんど姿を見えなくなったが、現在では宍道湖に300～500羽、能義平野と中海に1,000～1,600羽が安定して渡来するようになった。なお、宍道湖・中海低地帯に渡来するハクチョウ類の大半はコハクチョウで、オオホクチョウは稀にしか渡来しない。 コハクチョウは、シベリア北部のツンドラ地帯で繁殖し、冬季に日本列島などに渡ってくる。シベリア南部のタイガ地帯を主な繁殖地とするオオホクチョウと比較すると、より北のツンドラ地帯から宍道湖・中海まで、数千kmに及ぶ飛行を続け渡来する。これは、コハクチョウの優れた飛行能力やオオホクチョウとの棲み分け合いの結果と考えられている。 宍道湖は、日本列島におけるコハクチョウの南限の集団越冬地であり、学術的にも注目されている。コハクチョウの渡来コースについては、これまで行われてきた標識調査などから日本列島に沿って南下するコースが知られていたが、電波発信機を使った調査により、最近になって日本海を直接横断するコースもあることが分かってきた。 宍道湖や中海に渡来するコハクチョウは、斐伊川河口部の中州や能義平野の水を湛えた水田などをねぐらとしており、出雲平野や能義平野の広大な水田を餌場としている。その他、近年松江市の市街地から約4kmにある宍道湖と成因を同じくする湖の内側の水田にも150羽ほどの群れが毎年渡来するようになり、市民の目を楽しませている。		
	地形・地質、 歴史・文化等	斐伊川水系の下流部の出雲平野と宍道湖・中海を含む湖岸域は、375km ² の広大な面積を占め、豊かな食糧に恵まれ、渡り鳥には好適な環境となっている。このような低地帯の形成は、新第三紀における島根半島の形成と第四紀の海面水位の昇降がもたらした2段階の地殻変動の結果であった。		
	写真・図等			
参考文献	佐藤仁志(2015) 松江市史 通史編1自然環境・原跡・古代(松江市史編集委員会): 136-138. 松江市. 佐藤仁志編(1985) 宍道湖の自然, 山陰中央新報社. 建設省中国地方整備局出雲工事事務所監修(1997) 斐伊川水系の鳥類, 社団法人中国建設弘済会, 70-71.			

■ **主な歴史・文化、
生物・生態のサイ
トカード（説明
書）を作成**



■ ホームページに掲載し、地域内外の方に P R

パートナーシップ協定締結

令和5年度締結団体 8（累計 11）

	団体名	契約締結日	締結年度 (締結数)
1	国立大学法人島根大学	令和4年9月2日	令和4年度 (3)
2	加賀まるごと博物館	令和5年2月20日	
3	一般社団法人出雲観光協会	令和5年3月27日	
4	ミサキどっとCome	令和5年9月28日	令和5年度 (8)
5	一般社団法人加賀潜戸遊覧船	令和5年9月29日	
6	神社ガールズ研究会	令和5年10月6日	
7	出雲国ジオガイドの会	令和5年11月9日	
8	海の楽校	令和5年11月30日	
9	出雲ターミナル株式会社	令和5年12月12日	
10	小泉八雲記念館	令和6年3月14日	
11	公立大学法人島根県立大学	令和6年3月14日	



3/14県立大学、小泉八雲記念館
との協定締結式

ジオサイトのモニタリング

■ジオパーク推進協議会として主体的にジオサイトの保全に取り組むために実施

■1月12日に報告会を開催

■令和5年度モニタリング実施箇所 **10**

	ジオサイト	エリア	市域	区分
1	桂島	島根半島	松江	令和4年度 から継続
2	法田海岸	島根半島	松江	
3	出雲平野・斐伊川	出雲平野・宍道湖・中海低地帯	出雲	
4	立久恵峡	南部丘陵地	出雲	
5	千酌海岸の波食棚	島根半島	松江	令和5年度 新規
6	須々海海岸の洗濯岩	島根半島	松江	
7	小伊津・十六島の砂泥互層	島根半島	出雲	
8	赤浦海岸	島根半島	出雲	
9	宍道湖	出雲平野・宍道湖・中海低地帯	松江	
10	小田海岸の貝化石	南部丘陵地	出雲	



看板整備

ジオパークに入ったことが分かる
視認性向上のための看板設置（**2**枚）



松江市美保関町福浦の県道沿い

来訪者への注意喚起
（観光公害への対応）看板設置（**1**枚）



松江市島根町沖泊

島根半島・宍道湖中海ジオパーク通信（会報誌）の発行

Vol.5 7月発行

Vol.6 11月発行

Vol.7 2月発行



印刷部数 各号3,000部

配布先 ジオパーク協議会会員、JGN（日本ジオパークネットワーク）、公民館、コミュニティセンター 他

「ジオパークの日」のイベント実施

- 8/19 (土)
- フィールドワークコース(11名参加)
「オープントップバスで行く！
ジオサイト探検ツアーin日御碕」
- クルージングコース (25名参加)
「オープントップバスで行く！
ジオクルージングツアーin日御碕」
- アトネスいずもでの体験学習コース (35名参加)
講座1「わくわく理科実験教室」
講座2「本物の化石を発掘してみよう！」
- 8/20 (日)
- 松江ビジターセンターでの缶バッジ
づくり(26名参加)



ジオパーク探検隊～カヤック体験ツアー～

■ 9/2 (土)、3 (日)

■ 会 場 ゲストハウスかたゑ庵 (松江市美保関町)

■ 参加者 小学校高学年とその保護者
2日間合計**8組23人**



3人乗りのカヤックで海へ



カヤックで洞穴へ

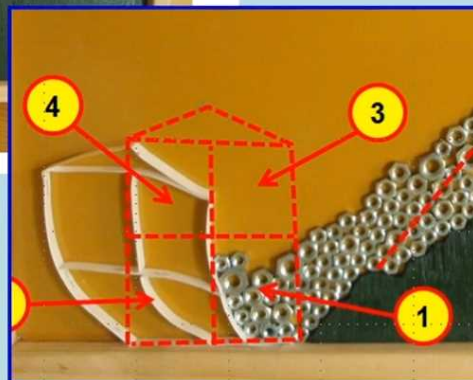
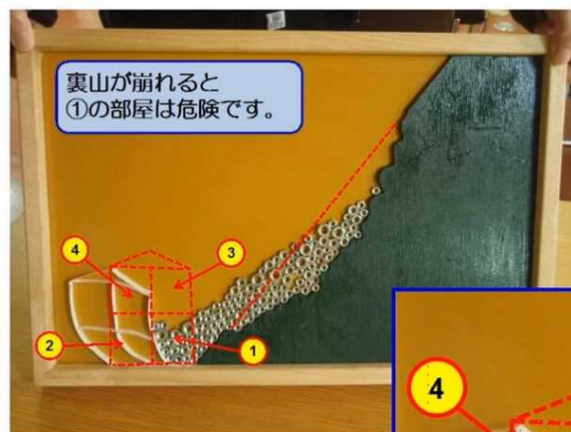


参加者でバーベキュー

自然災害対策に特化した教育プログラムの制作

- 「土砂災害」、「火山災害」、「地震災害」、「洪水災害」ごとに自然災害発生のメカニズムや過去の災害事例などを盛り込んだ解説動画コンテンツを制作
- ジオガイドがジオツアーなどの機会を通じて普及

土砂災害編



洪水災害編

2. 斐伊川における洪水災害

2.6 平成18年7月豪雨による浸水被害状況

旧斐伊川水系の被害状況	
	斐伊川
流域平均総雨量	378mm
浸水区域	約10km ²
浸水戸数(床下)	約1,500戸



資料提供：国土交通省中国地方整備局



ジオガイド養成、更新

01

ジオガイド養成初級講座（はじめの一步コース）

参加者数 **29**名

02

ジオガイド養成上級講座（認定ガイドコース）

参加者数 **9**名

03

ジオガイド認定試験

受験者数 **8**名

合格者数 **8**名

認定期間 令和**6**年**4**月**1**日～令和**10**年**3**月**31**日

令和6年4月1日時点

ジオガイド **63**名

04

ジオガイドスキルアップ研修

対象者 **10**名更新

05

ジオガイド更新研修

対象者 **9**名中 **8**名更新



ジオガイド養成講座
旅伏山（出雲市）での
フィールドワーク



ジオガイド更新研修
新名 高知大学講師の講演

各種補助金



日御碕でのバリアフリー
パンフ作製

島根半島・宍道湖中海ジオパーク 学術研究奨励事業補助金

交付決定した件数：**4**件
(前年度比+2件)

補助金合計：**400,000**円



中海でのSUP体験

普及啓発事業等補助金 推進環境整備事業補助金

交付決定した団体：**11**団体
(前年度比▲1団体)

補助金合計：**1,075,396**円



須々海海岸（松江市島根
町）での課外授業

学校におけるジオパーク授業 バス借上料補助金

交付決定した学校：**27**校
(前年度比+7校)

補助金合計：**3,393,090**円

第2号報告

島根半島・宍道湖中海ジオパーク

アクションプラン重点取組と

KPI(重要業績評価指標)の

令和5年度進捗状況



KPI全項目16

うちKPI **達成** 項目 **10** (63%)

KPI **未達成** 項目 **6** (37%)

達成項目

	名称(*は重点取組)	単位		2023 (令和5)
1. まもる	モニタリング実施ジオサイト件数／年度	件	目標値 実績見込	10 10
2. しる	データ公開件数／累計	件	目標値 実績見込	6 11
3. はぐくむ	*ジオパーク教育プログラム実施件数／年度	件	目標値 実績見込	35 47
	*地域住民向け出前講座、ジオツアー開催回数／年度	回	目標値 実績見込	5 14
4. つたえる	松江ビジターセンター来場者数／年度	人	目標値 実績見込	4,700 5,200
	ホームページ閲覧者数／年度	人	目標値 実績見込	5,500 13,000
	*看板(総合看板、サイト看板、誘導看板含む)数／累計	基	目標値 実績見込	35 37
5. つくる	*旅行者等主催のジオツアー開催回数／年度	回	目標値 実績見込	3 3
7. むすぶ	*パートナーシップ協定の締結件数合計／累計	件	目標値 実績見込	10 11
	JGN関係会議、研修会等への参加人数／年度	人	目標値 実績見込	7 14

KPI全項目16

うちKPI **達成** 項目 **10** (63%)

KPI **未達成** 項目 **6** (37%)

未達成項目

	名称(*は重点取組)	単位		2023 (令和5)
3. はぐくむ	認定ジオガイド養成数／累計	人	目標値	65
			実績見込	56
4. つたえる	日御碕ビジターセンター来場者数／年度	人	目標値	30,000
			実績見込	22,000
6. ささえる	学術研究奨励事業補助金交付決定数／年度	件	目標値	6
			実績見込	4
	地域活動補助金／年度	件	目標値	13
			実績見込	11
	ジオパーク授業におけるバス借り上げ料補助金交付決定数／年度	件	目標値	28
			実績見込	27
7. むすぶ	ジオサポ会員数／年度	人	目標値	455
			実績見込	435

主な未達成理由

ジオガイドは新たに7名を認定したが、転出や高齢などを理由に6名が更新されなかった。
目標達成に向け、ジオパーク活動を通じて、より多くの皆様に養成講座の受講や試験の受験を働き掛ける。

各種補助金は幅広く周知を行い、学術研究奨励やバス借り上げ料補助金は前年度より増加したものの、目標には届かなかった。
目標達成に向け、これまでジオパーク活動に関わっていただいた方などに幅広く補助金のPRを行う。

第3号報告

令和5年度一般会計決算見込



歳入

(円)

項 目	予算額①	決算見込額②	差引(②－①)	増減理由	摘要
松江市・出雲市負担金	16,000,000	16,000,000	0		松江市・出雲市 各8,000,000円
半島振興広域連携促進 事業	6,420,000	5,930,000	△ 490,000	・実績に応じたもの	国補助金
自然公園を活用した誘 客促進事業	350,000	253,000	△ 97,000	・実績に応じたもの	島根県補助金
会 費	455,000	495,000	40,000	・実績に応じたもの	ジオサポ会費収入
雑収入	838,000	1,138,756	300,756	・ポロシャツ販売収入 (+122千円) ・イベント参加料(+178千 円)	ポロシャツ販売収入等
前年度繰越金	973,000	833,344	△ 139,656	・実績に応じたもの	
合 計	25,036,000	24,650,100	△ 385,900		

歳出 (円)

項 目	予算額①	決算見込額②	差引(②-①)	増減理由	摘要
管理運営費	6,685,000	6,573,300	△ 111,700		
会計年度任用職員等人件費	3,930,000	3,930,000	0		・事務局員(会計年度任用職員)1名人件費 ・非常勤専門員1名人件費
事務局運営費	2,755,000	2,643,300	△ 111,700	・松江ビジターセンター案内業務人件費(△126千円)等	・JGN年会費 ・事務局専用車リース・燃料代 ・松江ビジターセンタースタッフ人件費・管理費 等
事業費	18,351,000	16,924,897	△ 1,426,103		
調査・研究・交流	4,160,000	3,134,293	△ 1,025,707	・JGN関係会議旅費(△527千円) ・3ジオパーク研修会開催費(△451千円)等	・JGN通常総会・全国大会・全国研修会・中四国近畿ブロック研修会参加旅費 ・3ジオパーク(隠岐、山陰海岸、島根半島・宍道湖中海)連携事業費 ・歴史・文化及び生物・生態サイトカード制作費 等
広報・宣伝	5,918,000	6,241,813	323,813	・子ども向け解説冊子印刷費(+143千円) 桂島パンフレット印刷費(+165千円)等	・会報誌作成費 ・看板整備費 ・ジオパークの日イベント実施費 ・スポーツイベント協賛費 ・各種パンフレット印刷費 等
普及啓発・教育活動	8,273,000	7,548,791	△ 724,209	・地域活動補助金(△634千円)等	・カヤック体験イベント開催費 ・防災・減災教育プログラム制作費 ・ジオガイド養成講座開催費 ・各種補助金(学術研究奨励事業、地域活動、ジオ授業バス借上料)等
合 計	25,036,000	23,498,197	△ 1,537,803		

次年度繰越額 1,151,903

第1号議案

役員改選(案)



(任期:令和6年4月1日～令和8年3月31日)

役 職	氏 名	所 属	再任新任
会 長	上定 昭仁	松江市長	再任
副会長	飯塚 俊之	出雲市長	再任
副会長	田部 長右衛門	松江商工会議所会頭	再任
副会長	小林 祥泰	島根大学名誉教授	再任
会長代行	小林 祥泰	島根大学名誉教授	再任

第2号議案

令和6年度事業計画(案)



令和6年度事業計画における重点取組の考え方

令和7年度日本ジオパーク再認定審査に向け、**未着手**の課題に取り組めます。

01

拡充

松江ビジターセンター及び日御碕ビジターセンターへの誘導標識看板の設置

02

拡充

ジオパーク解説看板の設置

令和6年度事業計画における重点取組の考え方

新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたことから、ジオパークを活用した**観光誘客の促進**、地域住民向けの**自然体験イベント**に取り組めます。

NEW

01

旅行事業者等による**ジオパークの魅力**を巡るコース
の造成・販売

拡 充

02

自然体験イベントの開催

NEW

03

ジオパークフォトコンテストの実施

第3号議案

令和6年度一般会計予算(案)



歳入

(千円)

項 目	令和6年度 予算額①	令和5年度 予算額②	差引 (①－②)	増減理由	摘要
松江市・出雲市負担金	16,000	16,000	0		松江市・出雲市各8,000千円
半島振興広域連携促進事業	4,840	6,420	△ 1,580	国の内示によるもの	国庫補助金(補助率1／2)
自然公園を活用した誘客 促進事業	295	350	△ 55		島根県補助金(補助率1／2)
会 費	460	455	5		ジオサポ会費収入
雑収入	800	838	△ 38		ポロシャツ販売収入等
前年度繰越金	1,151	973	178		
合 計	23,546	25,036	△ 1,490		

歳出

(千円)

項 目	令和6年度 予算額①	令和5年度 予算額②	差引 (①－②)	増減理由	摘要
管理運営費	6,891	6,685	206		
会計年度任用 職員等人件費	4,156	3,930	226	・事務局員(会計年度任用 職員)人件費(+226千円)	・事務局員(会計年度任用職員)1名人件費 ・非常勤専門員1名人件費
事務局運営費	2,735	2,755	△ 20		・JGN年会費 ・事務局専用車リース・燃料代 ・ビジターセンタースタッフ人件費・管理費等
事業費	16,655	18,351	△ 1,696		
調査・研究・ 交流	2,999	4,160	△ 1,161	・文化・生態サイトカード作 成費(△1,133千円) 等	・JGN通常総会・全国大会・全国研修会・中 四国近畿ブロック研修会参加旅費 ・3ジオパーク(隠岐、山陰海岸、島根半島・ 宍道湖中海)連携事業費 ・ジオサイトモニタリング費 等
広報・宣伝	6,846	5,918	928	・ジオツアー催行費(+388千 円) ・ジオパークHPリニューアル 経費(+547千円) ・看板整備費(+451千円)等	・ジオツアー催行費 ・看板整備費 ・フォトコンテスト開催費 ・HP、ジオパークパンフレットリニューアル費 ・ジオパークの日イベント実施費 等
普及啓発・ 教育活動	6,810	8,273	△ 1,463	・防災・減災教育プログラム 作成費(△500千円) ・小学校向け学習補助資料 印刷費(△600千円) 等	・自然体験イベント開催費 ・ジオガイド養成講座開催費 ・各種補助金(学術研究奨励事業、地域活 動、ジオ授業バス借上料) 等
合 計	23,546	25,036	△ 1,490		

第4号議案

島根半島・宍道湖中海ジオパーク
保全管理計画(案)



目的 PURPOSE

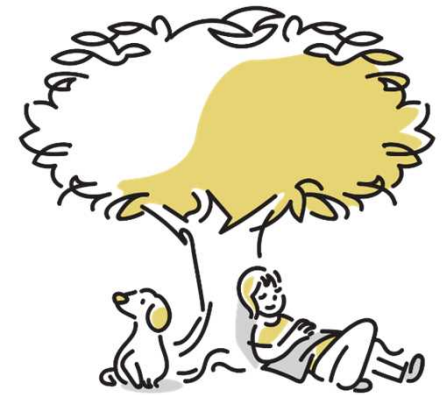
島根半島・宍道湖中海ジオパークの**地域資源**を**保全管理**するための方針や具体的な方策を定める

位置づけ POSITIONING



計画期間 TERM

2024(令和6)年4月1日～2026(令和8)年3月31日の**2年間**



ジオサイト一覧 TABLE



探訪サイト

ジオヘリテイジ（地質遺産）について探訪し、学び、教育・研究活動をするのできる地点。



探検サイト

探訪サイトに準じるが、特別な経験やガイド者の同行、装備が必要な場合など、現状としてある程度の困難が伴う地点。



眺望サイト

アクセスが困難又は容易でないジオサイトについて、眺望し学ぶ地点。

探訪サイト

探検サイト

眺望サイト

島根半島 ジオヘリテイジ

1 日御碕の柱状節理

11 桂島

1 古浦海岸の貝化石

1 大社湾北岸

2 鷺浦の縦穴海食洞

12 加賀の潜戸

2 加賀の潜戸鼻

2 弥山のごえんゴウロ

3 唐川地域の黒鉱鉱床

13 多古の石柱

3 佐波の海底火山

3 多古の七つ穴

4 唯浦の直立層

14 千酌の波食棚

4 瀬崎海岸

4 西浜佐蛇の十六禿

5 大船山

15 惣津の波食棚

5 築島の岩脈

5 入道礁

6 赤浦海岸

16 美保関隕石

6 笠浦半島の海底火山堆積物

6 地蔵崎

7 小伊津・十六島の砂泥互層

17 松江層の潮汐堆積層

7 美保関古浦ヶ鼻の鉱物

8 手結のスランプしゅう曲

8 法田の波食棚

9 御津海岸の生痕化石

9 美保関の海食崖

10 須々海の洗濯岩

10 宇井の古浦層

出雲平野・宍道 湖中海低地帯 ジオヘリテイジ

1 出雲砂丘

5 連結汽水湖の中海

1 嫁ヶ島

2 神戸川

6 嵩山と和久羅山

3 斐伊川

7 大根島火山

4 連結汽水湖の宍道湖

8 大根島の湧水

南部丘陵山地 ジオヘリテイジ

1 田儀の食い違い礫

5 小田海岸の貝化石

2 朝山の六神山

6 来待石の石切場跡

3 立久恵峡

7 花仙山のメノウ脈

4 八雲風穴

8 日吉の切り通しと旧蛇行河道

ジオサイト保全の現況（関係法令等と対象）

それぞれ関係する法令に基き、適切な保全を行う。



① ラムサール条約登録湿地

宍道湖、中海

② 自然公園法

大山隠岐国立公園
島根県立自然公園（宍道湖北山、立久恵峡）

③ 森林法

島根県斐伊川森林計画

④ 海岸法

島根沿岸海岸保全基本計画（で定める範囲）

⑤ 河川法

斐伊川水系

⑥ 文化財保護法

国指定文化財、名勝及び天然記念物（潜戸、立久恵 など）

⑦ 景観法

松江市、出雲市景観条例 ほか

⑧ 屋外広告物

島根県屋外広告物条例 ほか

⑨ 地域での自主的な保全活動



生物・文化財等の保全の現況 (関係法令等と対象)

① 島根県鳥獣保護区

鳥獣保護区

松江市 17か所

出雲市 12か所

特別鳥獣保護区

3か所

万寿寺 / 中海 / 宍道湖

② 文化財保護法

有形文化財

無形文化財

民俗文化財

天然記念物



出雲日御碕灯台（国指定有形文化財）



佐蛇神能（国指定重要無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産）

ジオパークの保全に関する考え方

ジオサイトと自然環境の保全

ジオサイトの保全

自然環境の保全

地球遺産を守る
(現状維持を目標に)



持続可能な利活用

自然体験学習

ジオパーク教育 など



具体的な保全活動

ジオパーク推進協議会による保全活動

- 01 ジオパークの価値を示す資料（カード等）の整理
ジオサイト 生物・生態 歴史・文化
- 02 ジオサイトのモニタリング（定期的な観察）の実施
評価基準を設定 >> 異常の有無を確認
（年1回目途）
- 03 保全についての周知・啓発
ジオツアー、自然体験イベント
ホームページ、SNS など
看板設置
- 04 持続可能な地質物品の収集・取引に係る取組み
来待石の埋蔵量、採掘・販売量の把握 など

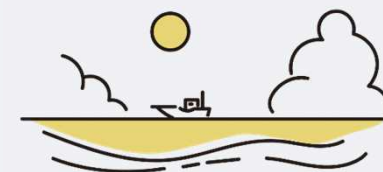
地域住民、地域団体による保全活動

- 01 自主的な保全活動
海岸漂着ごみの清掃活動
ジオサイトの除草作業 など
※ジオパーク地域活動補助金の活用
- 02 日常的な巡視活動
ジオサイトの異変 など
確認 >> ジオパーク推進協議会
連絡



来訪者による保全活動への協力

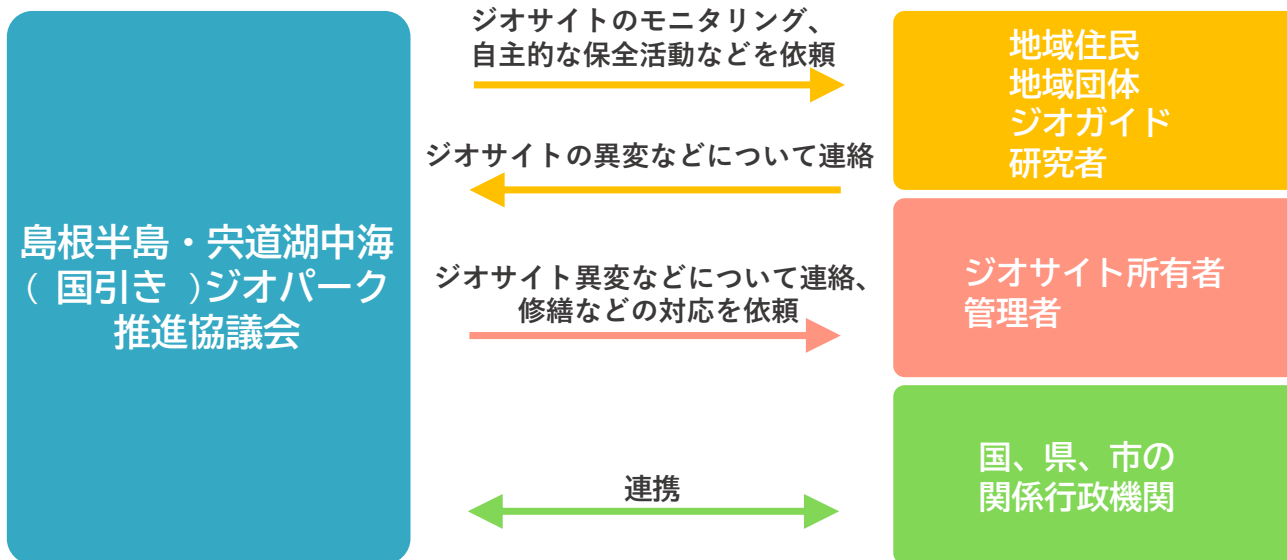
- 01 啓発、情報発信
「景観・自然環境を壊さない」



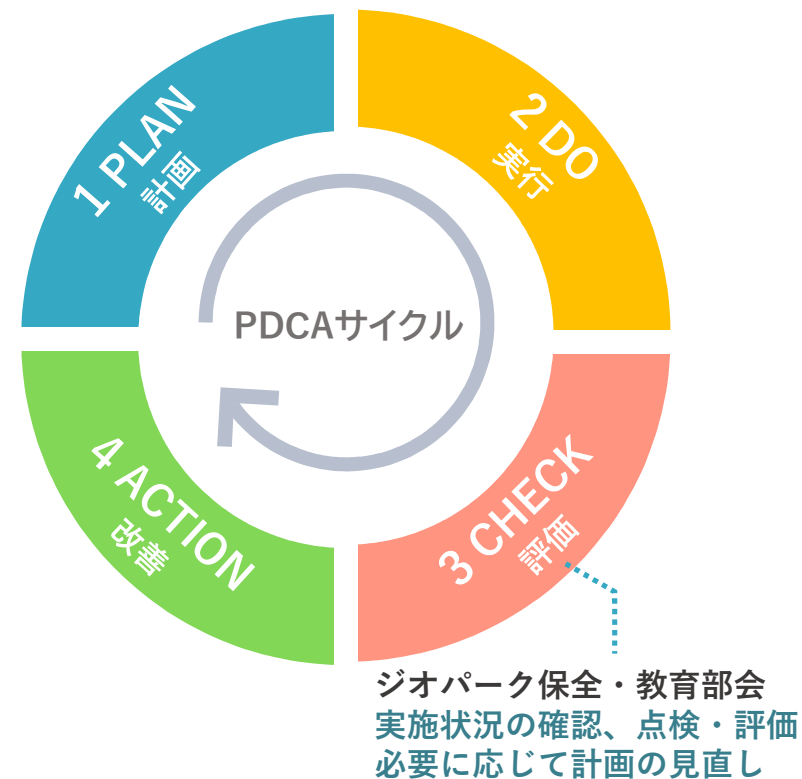


島根半島・宍道湖中海ジオパーク保全活動の 推進体制、点検・評価の実施

推進体制



点検・評価の実施



第5号議案

島根半島・宍道湖中海ジオパーク
ブランディング戦略(案)





目的 PURPOSE

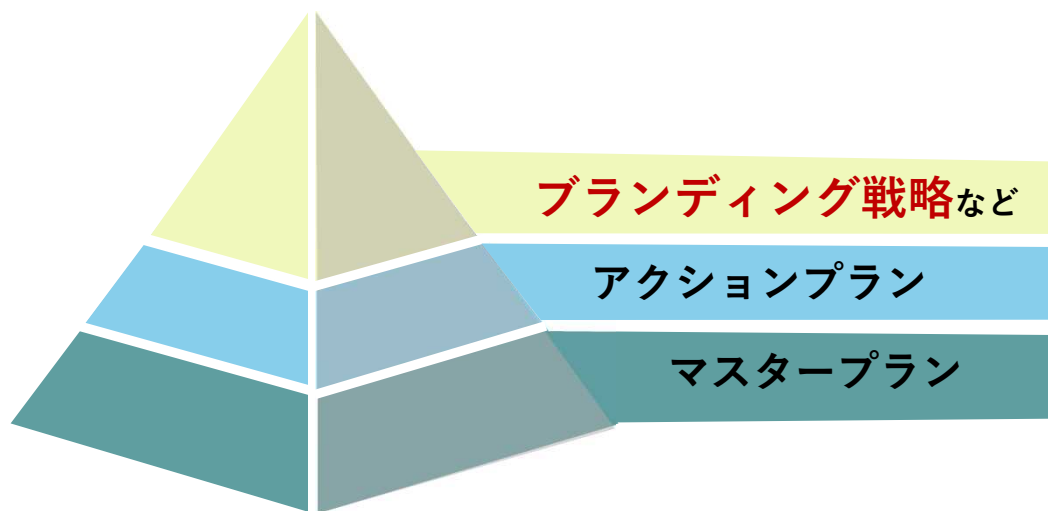
島根半島・宍道湖中海ジオパークの魅力・特徴を分かりやすく伝達



ブランド価値を定着



位置づけ POSITIONING



個別・具体的取組み

4年間の事業計画

目指す地域の姿
(4年間の方向性)



現状・課題 CURRENT SITUATION AND ISSUE

現状

- ✓ ジオパークに対する**認知度**が不十分
- ✓ **島根半島・宍道湖中海ジオパーク**の名称は聞いたことがあるが、**目的や意義**はわからない



認知度の向上や
目的・活動意義の浸透といった
ブランド価値を定着させる

課題

令和3年度**日本ジオパーク再認定審査**での
指摘事項

- ✓ **活動表記**に**様々な名称**がある

“出雲国ジオガイドの会”
“国引きジオブランド”
“国引きの大地” …

統一性を欠き、**わかりにくい！**



魅力・特徴を
わかりやすく伝える

ブランディング戦略

が必要！



ターゲティング

TARGETING

○ ジオパークエリア内の地域の人々

○ ジオパークエリア外からの来訪者



ブランドポジショニング (立ち位置、差別化するポイント)

POSITIONING

01

ジオパークの目的や意義の浸透を図る



社会が直面する重要な課題

地球資源の持続的利用
自然災害の影響軽減
気候変動の影響緩和



意識・理解
を高める



02

自然・文化遺産を活用



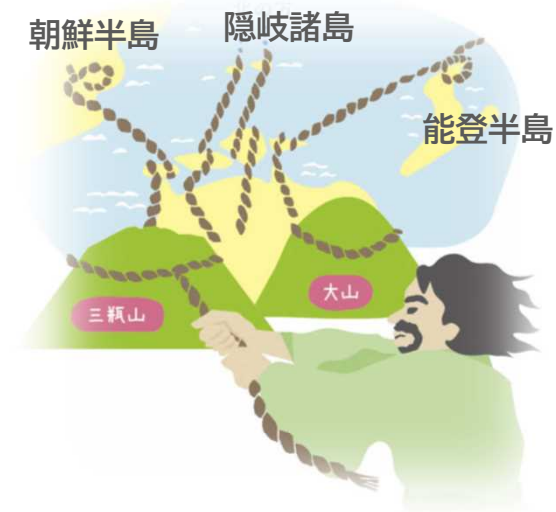
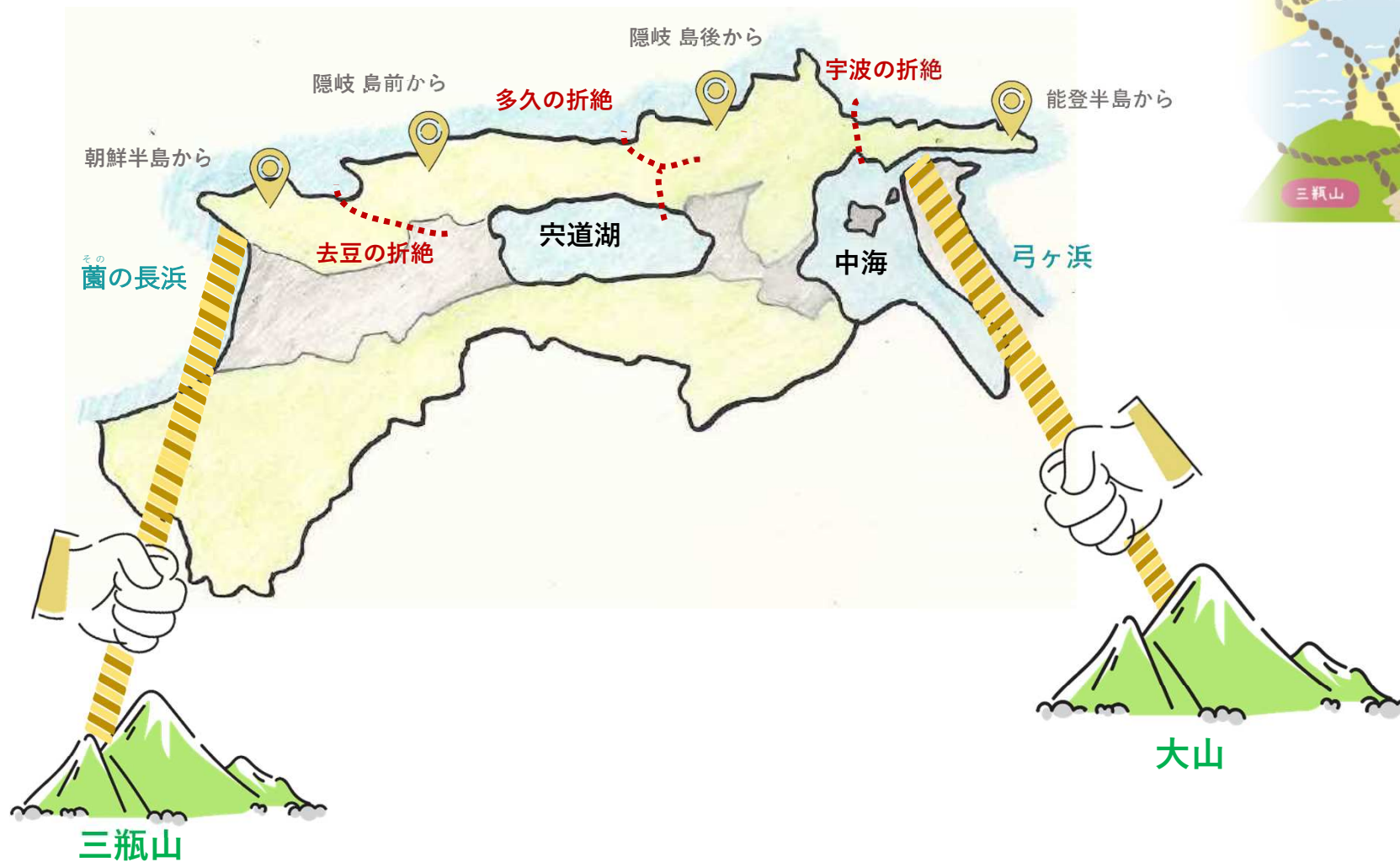
最大の特徴

大地の成り立ちと国引き神話の関係

他のジオパークにはない特徴・魅力



特徴 大地の成り立ちと国引き神話の関係



*1

ブランドアイデンティティ

1 《 持ってほしいイメージ 》
国引き神話と大地の成り立ちがつながる
神秘のエリア



2 《 提供したい価値観 》
地球遺産と歴史・文化が織りなす
世界での体験・発見

神秘のエリアでの感動体験

3 《 ブランドが目指すもの 》

- **地球（歴史・文化）遺産**を次世代へ**引き継ぐ**
- **人材育成**（持続可能な地域づくりにチャレンジする人）
- **地域振興、観光振興**（ジオ・エコ・ヒトの魅力を満喫）

キャッチコピー / 愛称 ロゴマーク / シンボルマーク

キャッチコピー
1 **出雲国風土記の自然と歴史に
出合う大地**

愛称
2 **国引き**

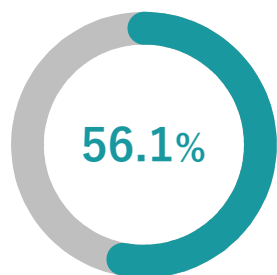


認知度・ブランド価値の向上を確認する指標

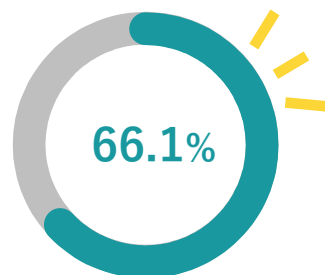
01 認知度調査の結果 (松江ビジターセンター調査)

島根半島・宍道湖中海ジオパークを知っている割合

R4年度 (現状値)



R8年度 (目標値)



10ポイント
アップ!



02 ビジターセンター来場者数

	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)	R7 (目標)
松江ビジターセンター 来場者数/年度 (人)	4,525	4,700	5,300	5,400
日御碕ビジターセンター 来場者数/年度 (人)	18,230	30,000	36,000	40,000

03 通年で展開できるジオツアーの造成

島根半島エリア

出雲平野・宍道湖中海低地帯エリア

南部丘陵山地エリア



ブランド認知を広めるための取り組み



- ホームページ・SNSでの発信
- PR動画のインターネットなどの発信
- ジオパーク主催イベント等での発信
- マスメディアを通じた発信

○ ジオガイドやジオパーク活動に関わる方による発信

○ 豊かな歴史と文化を活用したジオツーリズムの催行

○ 関係団体のホームページ等でのジオパークロゴの掲載など

